

“「墜落・転落」災害防止大会”が開催されました

～12月24日 サンタクロースも安全帯～

去る、平成26年12月24日、宇都宮労働基準監督署（署長小林 茂）は、とちぎ福祉プラザにおいて、労働災害で最も死亡労働災害などの重篤な災害につながりやすい、「墜落・転落」災害を防止するため、管内の事業者及び関係労働者に、広くその防止を呼びかけました。

第一部では、建設業労働災害防止協会栃木県支部理事の橋爪良行氏による災害防止のための講習会、第二部では、鹿島建設（株）工事事務所副所長の上浪鉄郎氏による特別講演がおこなわれました。また、第一部と第二部の間に、アトラクションが行われ、同支部宇都宮分会役員がサンタクロースにふんして「高所作業では、ハーネス型安全帯を着用しましょう！」と呼びかけ、会場はとても明るい空気に包まれました。



主唱者として挨拶を小林監督署長



サンタクロースとトナカイに姿を変えた、宇都宮分会役員たち